

【様式】

平成29年度 放課後子ども教室南会津地区研修会 実施報告書

(南会津) 教育事務所

1 実施期日	平成29年8月24日(木)	時間帯: 10時00分~14時40分
2 会場	南会津町御蔵入交流館 多目的ホール	
3 出席者数	総出席者数 計 34名 (男性11名 女性 23名)	
(内訳)	○ 陣内 雄次 氏 (講演会講師) 1名 ○ 増子 恵二 氏 (実技講習講師) 1名 ○ 放課後子ども教室コーディネーター及び指導員 21名 ○ 南会津町教育委員会 2名 ○ 下郷町教育委員会 1名 ○ 只見町教育委員会 3名 ○ 南会津教育事務所 5名	
4 研修会概要	<p>1 開会式 (10:00~10:10)</p> <p>(1) 開会 (2) 主催者あいさつ 福島県教育庁南会津教育事務所長 佐藤 則之 (3) 日程説明・諸連絡</p> <p>2 講演 (10:10~11:45)</p> <p>(1) 講師紹介 南会津教育事務所次長兼総務社会教育課長 高橋 正敏 (2) 講演 演 題 「放課後子ども教室のこれまでとこれから」 講 師 宇都宮大学 教育学部 教授 陣内 雄次 氏 (3) 講演内容</p> <p>I みなさんのこと</p> <ul style="list-style-type: none">○ いい人は貴重な人材○ いい人が自分らしく活躍することが大きな財産 <p>II 地域でしか学べないことって</p> <ul style="list-style-type: none">○ 地域にかかわることで大人も子どももハッピーになれる <p>III 子どもに寄り添うということ</p> <ul style="list-style-type: none">○ 子どもの居場所は、まずは家庭であり、学校そして地域社会にある <p>IV 学習に秘められた宝</p> <ul style="list-style-type: none">○ ドロールレポートの「学習の4本の柱」 <p>V 日本の子どもたちの状況</p> <ul style="list-style-type: none">○ 若者が抱えるワースト3は○ 日本の子どもたちは、自分に満足していない <p>VII 放課後子ども教室のこれまで</p> <ul style="list-style-type: none">○ 放課後子ども教室プランの基本的な考え方○ 行政施策としての居場所づくり <p>VIII 放課後子ども教室のこれから</p> <ul style="list-style-type: none">○ 2つの課題○ これからに期待されること <p>IX いくつかの参考例</p> <ul style="list-style-type: none">○ 子どものための町づくり学習 (宇都宮市)○ 羽根木プレーパーク (東京都世田谷区)○ 子どもの居場所づくりで頑張った高校生 (奥州市)	



3 休 憩 (11:45~13:00)

4 実技講習 (13:00~14:40)

(1) 講師紹介 南会津教育事務所次長兼総務社会教育課長 高橋 正敏

(2) 実 技

テ ー マ 「子どもを引きつける楽しいレクリエーション」

講 師 福島県青少年団体連絡協議会 会長 増子 恵二 氏

(3) 実技内容

I はじめに

II 実技

- 自己紹介・準備運動
 - ・ 受講者を指名し、その指示に従って準備運動等を楽しく進める
- グルーピングのためのゲーム
 - ・ 講師の合図で指名された人数のグループを素く作る。(複数回実施)
- フラフープを使ったゲーム
 - ・ グループで対抗戦形式によるゲームを行う
- ボールを使ったゲーム
 - ・ ボールを頭の上、股の下を交互に後ろに送り早さを競う

III おわりに

- レクリエーションゲームを通じた人間関係づくり
- ゲームを実施するにあたって



6 閉 会 (14:40)

5 感 想

<講演会>

- 宇都宮大学の学生の活動に感動しました。子どもたちのためになる良い研修ができて良かったです。
- 3匹の鯛(たい)の話は、自分の子育ての参考にもなりました。
- 他地域の事例紹介や子ども教室と地域のかかわりの重要性について学ぶことができました。
- 日本各地で想像を超えるような取組をされていることを知った。
- このような講演を、子どもの親や行政に携わる方々にも聞いてもらいたいです。
- 講演会の内容は、自分たちが実践するのには難しい内容だったと思います。

<実技講習>

- すぐに役立つものばかりでとても良かった。
- 実技では、楽しみながらも協力し合うこと、声をかけ合うことの大切さを学びました。
- 汗をかいて頑張りました。楽しかったです。
- レクリエーションのコツが聞けて良かったです。
- 実技はとても参考になりました。放課後子ども教室の部屋が小さくなったので、このようなゲームをやって子どもと共に楽しみたいと思います。

<全体を通して>

- 楽しく勉強することができました。ありがとうございました。
- 子どもたちと楽しく過ごせるように学んだことをいかしたいです。
- とても勉強になりました。指導員全員に参加して欲しいと思います。
- 今日の講話・運動など、とても勉強になりました。初めて参加しましたが、とても有意義でした。

6 成果・課題

<成 果>

- 陣内雄次先生の講演は、子どもの心の中には、3匹の鯛（たい）「認められたい」「褒められたい」「役に立ちたい」がしっかりと泳いでいることの大切さや、全国各地の先進的な取組を紹介していただき、学校・地域・子ども教室の連携や運営について実感できる大変参考になる講演であった。
- 増子恵二先生の実技講習は、参加者が楽しく活動すると共に、活動の要所要所で子どもたちを引きつけるポイントなどを教えていただきながら、すぐに実践で役立つレクリエーションで大好評であった。

<課 題>

- 児童クラブへの参加も呼びかけたが参加者が無かった。今後、町健康福祉課と連携協力していく必要がある。
- できるだけ多くの参加者を募るために、開催日を夏休み中に設定したが、始業式の前日であったため参加できない方もいたので、開催時期を検討していく必要がある。